



語り部活動にも力を入れており、常設展示室内で1日4回、講話を開催。それぞれ異なる観点から震災当時の避難の状況や災害に対する備えの大切さなどを伝えていきます。さらに、福島イノベーション・コースト構想など被災地域の未来について詳しく紹介しているのも特徴です。

館内は6つのブースで構成されている。原発事故の原因を解説する映像や事故直後の東京電力福島第一原発を再現した模型をはじめ、複合災害について考えるきっかけとなる資料を豊富に展示



地震、津波、原発事故の発生当時の映像やアニメーションを組み合わせ、複合災害について伝える「プロローグ」。ナレーションは福島県出身の俳優・西田敏行さんが務めている



除染作業に関する展示、米の全量全袋検査模型や甲状腺検査機器の展示のほか、住民の体験談など原子力災害について詳しく紹介。原発事故後1週間の出来事を映像で見ることもできる

●ふたばまち

双葉町

東日本大震災・原子力災害伝承館

●ひがしにほんだいしんさいげんしりょくさいがいでんしりょうかん

福島で何が起こったのか複合災害を伝える



最大震度 6強

浸水面積 3km²

最大浸水深 16.5m



全壊 103棟

半壊 14棟

一部損壊 1棟



死者 175人

行方不明者 4人

負傷者 不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

地

震、津波、原発事故という複合災害に直面して福島

展示

交流拠点

施設ガイド

語り部あり

車椅子OK

施設DATA

●ひがしにほんだいしんさいげんしりょくさいがいでんしりょうかん

東日本大震災・原子力災害伝承館

☎ 0240-23-4402 MAP P116F2

📍 双葉町中野高田39

🚗 常磐自動車道常磐双葉ICから車で10分

🕒 9~17時(最終入館は16時30分)

🔥 火曜(祝日の場合は翌平日)

🎫 600円、小・中学生・高校生300円、未就学児無料

🚗 あり(大型バス:あり)

🌐 <https://www.fipo.or.jp/lore/>



考えてみよう

Q1 館内には防護服や除染などを入れる袋「フレコンバック」も展示されています。除染土の処分の課題について考えてみましょう。

Q2 館内には、地震により落下した富岡高校体育館の照明器具も展示されています。この展示にはどのようなメッセージがあるのでしょうか。

A1 除染土を福島県外で最終処分する候補地が決まっていないため、A2 大型の照明器具が落下するほどの大地震だった。東京五輪バドミントン混合ダブルスで銅メダルを獲得した渡辺勇大選手・東野有紗選手が震災当時、その場で練習しており、命の危機を感じたという。